

官僚出身・トップダウンですすめる

30年も縛る

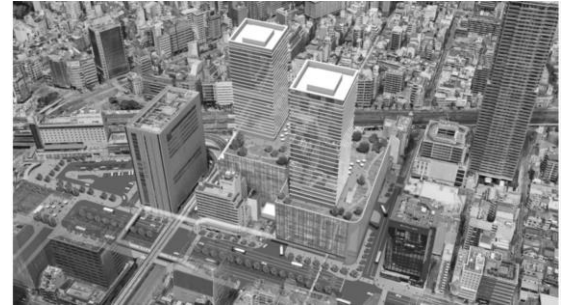
久元市長の「超巨大開発」計画！

●三宮再整備基本構想 事業費「数千億円」

「旅行者にはバスターミナルわかりにくい」—総務省の官僚を退職し神戸に来た久元市長は、中央区役所や図書館、勤労会館を住民無視で移転させる「再整備構想」と発表しました。

また、先日、再開発の民間アドバイザーが発表した計画は、ミント神戸を上回るツインタワー商業ビル計画（右図）。

サンパルなど三宮の既存商店街を、まったく顧みないスクラップアンドビルド計画です。



●市役所2・3号館建替計画

「民間活力の活用を中心に」—計画案で出てきたのは、市役所の建て替えではなく、「にぎわい施設」の誘致計画。出されたパースでは、ショッピングモールをそなえたりゾートホテル計画。そこには住民サービスを切り売りする市長の姿勢が。



●神戸港将来構想 事業費 1兆円以上(概算)



「強力な集客資源が不足している」—神戸市が神戸港開港150周年式典で発表した計画は、神港突堤に巨大な外国人向けの集客施設を誘致。ここでも呼び込み型の計画が。

さらに、矢田前市長が凍結した「六甲アイランド南」計画の復活。湾岸道路から2本の橋上道路をのぼす（左図）など、少なく見積もっても1兆円以上のトンデモ計画です。

未来を担う子どもたちには「財源が限られている」と、医療費無料の公約放棄。
三宮駅前や神戸港のハコもの開発には「何千億円」「何兆円」とお金をかける。
こんな市政をつづけていいのでしょうか？

私たちは「呼び込み頼み」ではなく、神戸で生まれ暮らし働く「市民生活を第一」の市政をめざします



都心・三宮一極集中ではなく、
地域バランスのとれたまちづくりを！

なんでも再開発はやめて、
「神戸の良さ」に磨きをかける政策に！